横浜市立上矢部小学校　学校だより　　令和６年１月９日

やまゆり　１月

学校教育目標　**大地に根をはり　共に伸びよう　天までとどけ**

☆欠席連絡は、連絡帳かマチコミメール（朝 8:00 まで）、それ以降は電話でお願いします　☆朝学校に着くのは、8:10～8:20 までの間です
☆登下校は決められた通学路以外使いません　☆帰宅後の外出は５時までです　☆放課後の学校への電話連絡は 17：45 までにお願いします

あけましておめでとうございます！

～襷（たすき）をつなごう！　２０２４年もよろしくお願いします～

校　長　　鈴木　則男

あけましておめでとうございます。１月９日から後期後半が始まりました。この冬休み期間中は、大きな地震などの災害があり、心が痛む年明けとなりました。一日も早い復興を願うばかりです。さて、この冬休み、横浜は比較的穏やかな天候に恵まれました。ご家庭では、一緒にお正月を迎える準備をしたり、初詣に出かけたりするなど、冬休みならではのよさを感じるよい機会になったことと思います。一年の計は元旦にありといわれますが、２０２４年、子どもたちはどんな願いや目標を立てたのか楽しみでなりません。

新春の風物詩となった「箱根駅伝」、今年も私は競技役員として戸塚区平戸小交差点付近で沿道の整理、選手の安全な走行を確保する役を務めました。主催者である関東学生陸上競技連盟によると、今大会の沿道の観戦者は９８万人、前回の９１万人から増となりました。沿道では声を出しての声援や幟の掲載も可能となりましたが、観戦された方々は皆マナーを守り、気持ち込めた温かい声や拍手で選手の後押しをしていました。その後押しを受け、各校伝統の襷を肩にかけた選手は、目の前をあっという間に駆け抜けていきます。１００回となる今年の箱根駅伝は２年ぶりに青山学院が優勝しました。「負けてたまるか大作戦」は３冠を目指したライバル駒沢大学に負けない想いと自分自身に負けないことを目指し、チーム力を向上させたとも伝えられていました。

ご承知の通り、東京箱根間往復計２１７．１ｋｍを一本の襷でつないでいきます。
選手の家族はもちろん、走りたくても力が足りずにメンバーに選ばれなかった人、チーム事情や、力があるのにケガで走ることができずにサポート役にまわった人、チームの OB や卒業生、支えてくれた多くの人たち・・・たくさんの人たちの思いや願いを襷に込めて、ひたむきに走る選手の姿がある。だからこそ、見る者の心を熱くしていることに違いないと感じています。

学校生活においても、思うような結果が出せなかったり、自分の希望する役を担当できなかったりすることがあります。そんなときこそ、対話を大切にして状況を受け入れ、あきらめずに解決に向けて努力することの大切さを育てていきたいと思います。

令和５年度もあと３か月あまり、前進あるのみです。地域の皆様、保護者の皆様、今年もどうぞよろしくお願い致します。

〇３月１９日、卒業式。６年生は「上矢部小６年生」という思い出の詰まった襷を肩にかけ、みんなで卒業というゴールに飛び込みます。
～ゴールまで、あと３か月足らず・・・さあ、スパートをかけよう！～
〇３月２５日、修了式。１年生から５年生は各学年の襷を下の学年につなぎます。修了式は駅伝にたとえると大切な「中継所」です。
～中継所まで、あと３か月足らず・・・さあ、ラストスパート！襷をつなごう！～